

令和3年度第1回古賀市健康づくり推進協議会意見集約（要旨）

1. 開催日 書面会議（意見提出日 令和3年9月17日）

2. 会議概要

1. 報告事項

- (1)ヘルスアップぷらんに関する令和2年度の実績及び令和3年度の取組について
- (2)令和3年度高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施について

2. 協議事項

- (1)アプリやオンラインを活用した健康情報の発信や健康教育を実践する際に、多くの市民が抵抗なくスマートフォンやオンライン機器などを活用するための取組

3. 議事概要

①ヘルスアップぷらんの進捗状況について

- ・ヘルスアップぷらん（古賀市健康増進計画（第二次））及び古賀市食育推進計画について（資料1）
- ・食育推進計画の推進状況について（資料2）
- ・ヘルスアップぷらん（古賀市健康増進計画（第二次）・食育推進計画）取組状況（資料3）
- ・健康チャレンジ10か条推進状況・健康づくり啓発事業について（資料4-1）
- ・健康チャレンジ10か条チラシ（資料4-2）
- ・人材育成について（資料5-1）
- ・健康づくり等関連サポーター数（資料5-2）
- ・ヘルス・ステーションについて（資料6-1）
- ・令和2年度ヘルス・ステーション活動及び設置状況（資料6-2）
- ・特定健診・がん検診の受診状況について（資料9）

②令和3年度高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施について

- ・高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施について（資料7-1）
- ・高齢者の健康から見る古賀市の実態（資料7-2）
- ・健診・医療・介護データの一体的な分析から重症化予防・介護予防対象者を把握する（資料7-3）
- ・こがんよか健康ポイントキャンペーンについて（資料8-1）
- ・こがんよか健康ポイントキャンペーン（チラシ）（資料8-2）

4. 意見の取りまとめについて

ヘルスアップぷらん（古賀市健康増進計画（第二次）・古賀市食育推進計画）及び高齢者の保健事業と介護予防の一体化に関する事業の推進状況を確認いただき、下記のテーマについて、委員7名より意見を頂いた。

【ご意見を頂いたテーマ】

アプリやオンラインを活用した健康情報の発信や健康教育を実践する際に、多くの市民が抵抗なくスマートフォンやオンライン機器などを活用するための取組について

（各委員からのご意見）

方 法	内 容
研修・講座	<ul style="list-style-type: none"> ○民間のオンライン講座の受講→そのシステムを活用した講座の開催 ○簡単に操作できるアプリを使った研修会や講座の開催 ○オンライン配信についての説明会の開催 <ul style="list-style-type: none"> ・動画でのお互いの顔を確認でき同じ空間を共有できる ・コミュニケーションを取りながら行うことができる ・録画であれば、好きな時に何度も見ることができる ○携帯会社や学校と連携し、「孫世代に学ぶスマートフォンの使い方講座」の開催 ○「スマートフォンの使い方講座」等で、実際にアプリ等に登録してもらおう。→「なりすまし」などの詐欺防止の効果も。
情報発信	<ul style="list-style-type: none"> ○市 HP でオンライン活用の情報発信 ○現在オンラインを活用している人を対象に、市 HP、学校、回覧板、商業施設でのポスター掲示等を活用し、周知を図る。→今活用していない人を取り込むことは限界があるかも。
取組	<ul style="list-style-type: none"> ○参加者が主体となった健康教育体制の推進 ○社会の変化に対応した取組は重要。→住民の年齢層や性別、経済レベル等でスマートフォンやオンライン機器の利用状況は異なる。それらの機器の普及状況を把握し、使用するツール（スマートフォン、ガラケー、パソコン等々）の検討が必要。 ○世代間交流や地域交流等居住者の交流を促すために、小中高大での学習指導要領の中で「地域」を拠点とした活動の発展。→相互理解・交流を深め、かつ、高齢者の機器の利用方法の教育の展開を図る。 ○健康教育での Youtube 活用 ○10か条について、見える化できるツールがあるとよい。 →「ひさやま元気予報」等自身でリスク評価できるツール ○健康意識の高い市民 <ul style="list-style-type: none"> ・市報や公的な広告に QR コードを掲載し、健康関連のグッズや市の施設の利用

	<p>サービス券などをインセンティブとして与える。</p> <p>○健康意識の高くない市民</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「ひさやま元気予報」 ・自然に健康になれる持続可能な食環境づくりの推進検討会 ・市内のスーパーや商店街に協力をいただき、減塩等のイベントの際にアプリを試してもらうことを行う。
<p>その他</p>	<p>○オンラインの利用が難しい人へのアプローチの方法の検討→ワクチンパスポート発行時に資料や案内を渡してもいいかも。</p>